

# 河谷 麻瑚

高65期

石川テレビアナウンサー



『テレビ出てるまこちゃんに、いつも元気もらってるんよ〜』

石川のアナウンサーになって2年目。最近、金沢の街を歩いていると、視聴者の方から声をかけてもらうことも多くなりました。

『前、泥の中に入ってレンコン採ってたね〜泥だらけのマコちゃん見て、テレビの前で大笑いしたわ〜。』

『前、ノドグロのお寿司食レポしてたよね〜おいしそうに食べるよな〜。』

夢だったアナウンサーという仕事。どれだけ忙しくても、視聴者の方からの言葉が元気の源です。まさに、言葉に、背中を押されている。言葉にはパワーがあるって思うんですね。私がアナウンサーという夢を本気で追いかけて始めたのも、“言葉”がきっかけでした。

2010年4月28日。私のクラス（1年10組）にテレビの取材がきました。毎日放送の「ちちんぷいぷい」という番組のコーナー「たむらけんじの学校に行こっ！」の取材です。たむらけんじさんから、「将来の夢」について聞かれた私。勇気を振り絞って…『アナウンサーになりたいですっ！！』。(実は、小2の時からこの夢に憧れていました。)

O.Aを母と食い入るように見ると…キラキラした目で『アナウンサーになりたい』と話す私、ガッツリ映っていました。しかも！番組に出演していた古川圭子アナウンサーが『なれるよ！』と私に声をかけてくれているではありませんか！！テレビの前で、私は、『え〜！お母さん！今の言葉聞いた？！ほんまにマコ、アナウンサーになれるんちゃうん？！いや、なりたい！絶対なるねん！』と大興奮。(単純！笑)。

テレビの中で輝くアナウンサーから自分へ向けられた言葉が、私のぼんやりとした“憧れ”を“本気で目指す夢”へと変えてくれた瞬間でした。そして、何より一番驚いたのは、生野高校の仲間や先生方の反応でした。

クラスの友達『マコがアナウンサーしてるの、早くテレビで見たいわ〜』

先生『アナウンサーになりたいんやったら、東京の大学を目指したら？』

自分が発した言葉を受けて、クラスの友達や先生方が、私の夢を今まで以上に応援してくれたのです。

アナウンサーという仕事に就いた今、自分の発する“言葉”が多くの人に影響を与えている、と強く感じます。言葉ひとつで人を笑顔にできたり、元気にできる。言葉って難しいけど、面白いんですね。生野に通っているみんな！小さい夢でいいから言葉にしてみよう！自分の目標を言葉にしてみよう！恥ずかしいとか思わんでいいよ。誰もバカにせえへんから！生野には、力になってくれる人がたくさんいる。友達・先生・先輩、みんなが背中を押してくれる。応援されるって、気持ち良いものですよ。小さな目標を一個ずつ叶えていけば、いつのまにか大きな夢に近づいているはずですよ。まずは、言葉に出来る小さな夢や目標を見つけるところから始めてみては？ 応援しています！

## ■プロフィール

河谷麻瑚（かわたにまこ）

1994年 大阪府松原市生まれ

2013年 生野高校 卒業 65期・バドミントン部所属

2017年 早稲田大学 政治経済学部政治学科 卒業

2017年 石川テレビ放送 入社

担当番組「石川さん情報Live リフレッシュ」等

<http://www.ishikawa-tv.com/>